

ストロングガード タイル工法

有機系下地調整塗材、弾性接着剤による
外壁タイル張り工法

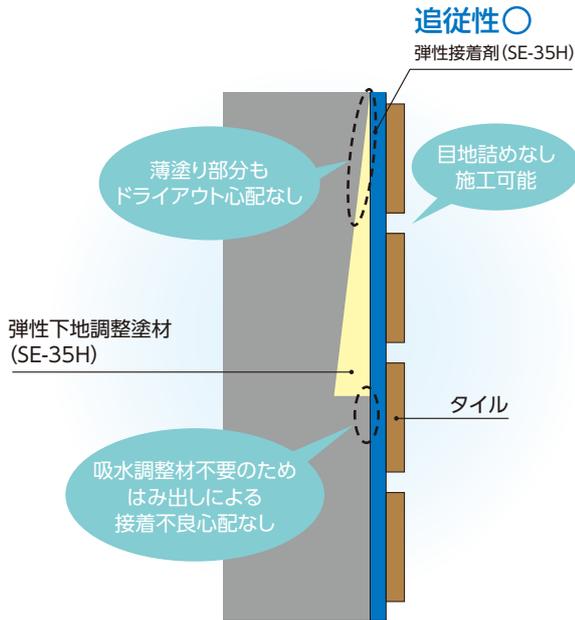


※接着剤：SE-35H、SE-35

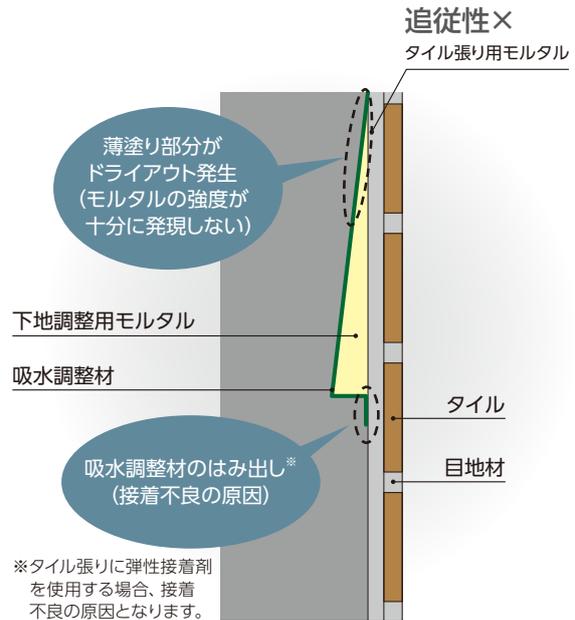
ストロンガードタイル工法と従来工法[※]の比較

※セメントモルタルを用いた
下地調整およびタイル張り工法。

ストロンガードタイル工法



セメントモルタルを用いた従来工法



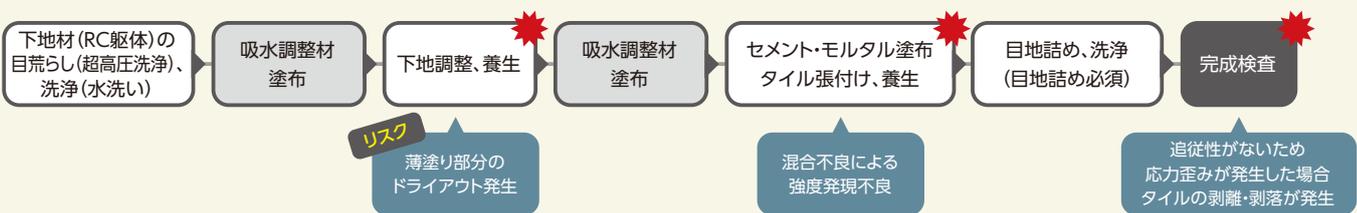
■工法手順比較

ストロンガードタイル工法はセメントモルタルを用いた従来工法に比べ工程が少なく、作業の簡素化というメリットがあります。

ストロンガードタイル工法



セメントモルタルを用いた従来工法



■ストロンガードタイル工法 施工手順 参考例



※: 目地埋め無しの場合は、接着剤を平押ししてください。

ストロングガードタイル工法は「長期信頼性」、「作業の簡素化」、「不具合リスクの低減」という3つの要素に、コスト軽減というメリットを兼ね揃えたアイカが提案する外壁のタイル張り工法です。



イメージPHOTO

工法コンセプト

タイル接着の長期信頼性

(タイルの剥離・剥落リスクの低減)

- ストロングガードタイル工法を行うことにより、下地と下地調整材層、タイル張り接着剤層の間に発生する応力歪みを緩和できます。
【長期耐久性や耐震安全性が向上し、タイルの剥離・剥落リスクの低減が期待できます】

長期
信頼性

下地調整工程にて発生する不具合リスクを低減

- 薄塗り箇所でのドライアウト発生による不具合が起りません。
- 吸水調整材の塗布が不要なため、はみ出しの心配がなく接着不良リスクが低減できます。

不具合リスク
低減

タイル張り作業の簡素化

ストロングガードタイル工法 **最大の特徴!!**

混合不要

作業の簡素化および混合ミスによる不具合リスクを低減します。

完全一材

下地調整～タイル張り工程が1つの材で行えます。

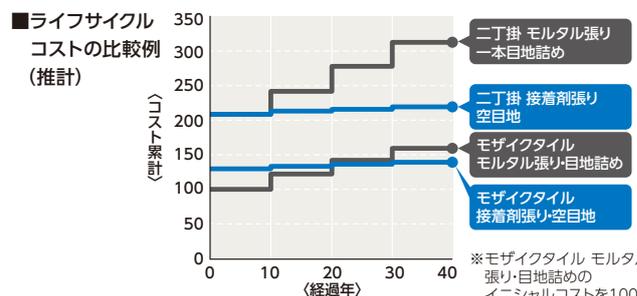
(専用下地調整材 兼
タイル張り接着剤 SE-35H
を使用)

作業の
簡素化

ライフサイクルコストの軽減

ストロングガードタイル工法は、従来のセメントモルタル張りに比べ、メンテナンス費用を含めたライフサイクルコストを低く抑えることができます。

コスト
軽減



ストロンガードタイル工法 専用下地調整塗材 兼 タイル張り接着剤 SE-35H

■基本性状

色調	ブラック ダークグレー ライトグレー ホワイト
粘度(Pa·s/23℃)	650
TI	7.0
可使用時間/ 貼り付け可能時間(目安)	60分(5℃) 40分(20℃) 30分(30℃)

※上記は代表値となります。

■標準塗布量

下地調整塗材として	約1.5kg/m ² (1mm厚) 約7.5kg/m ² (5mm厚)
接着剤として	約1.5~2.0kg/m ² (5mmクシ目ごて)

■適用接着剤 (SE-35Hを下地調整塗材として用いた場合)

SE-35	Q-CAT認定取得※
SE-35H	Q-CAT認定取得※

※外装タイルと有機系接着剤の組合せ品質認定制度
有機系下地調整塗材組合せ登録

■硬化時間 (5mm厚塗布の場合)

5℃	3日
23℃	1日
35℃	1日

※目安であり、施工環境によって
変わる可能性があります。



※接着剤: SE-35H、SE-35

■JAI 18 外装タイル張り用有機系下地調整塗材 (日本接着剤工業会規格) 品質試験

●付着強さ試験

	仕上用接着剤: SE-35H 下地調整塗材: SE-35H		仕上用接着剤: SE-35 下地調整塗材: SE-35H		品質基準	
	付着強さ (N/mm ²)	凝集破壊率 (%)	付着強さ (N/mm ²)	凝集破壊率 (%)	付着強さ (N/mm ²)	凝集破壊率 (%)
標準	1.01	100	1.00	100	0.6 以上	75 以上
低温硬化	1.00	100	0.98	100	0.4 以上	50 以上
アルカリ温水浸漬	0.67	90	0.65	90	0.4 以上	50 以上
熱劣化	1.21	100	1.20	100	0.4 以上	50 以上
凍結融解	0.90	100	0.90	100	0.4 以上	50 以上

●皮膜物性試験

	SE-35H		品質基準	
	破断強度 (N/mm ²)	伸び率 (%)	破断強度 (N/mm ²)	伸び率 (%)
標準	1.20	65	0.6 以上	35 以上
高温(80℃雰囲気)	0.95	40	0.6 以上	35 以上
低温(-20℃雰囲気)	0.75	70	0.6 以上	35 以上
アルカリ温水浸漬	1.60	40	0.4 以上	25 以上
熱劣化	1.40	55	0.4 以上	25 以上

※上記は代表値となります。

共通項目

- 本カタログに記載されている製品の使用、取り扱い、保管については、必ず製品説明書および安全データシート(SDS)も合わせてお読みください。
- 記載内容は当社試験結果によるもので十分信頼し得るものと考えておりますが、ご需要家各位において使用された結果を必ずしも保証したものではありません。また、使用目的、使用条件により結果が相違する場合がありますので、予めご需要家各位でご確認いただくことを推奨します。

カタログ、サンプル帳、現物サンプルのご請求はホームページにてお受けしております。

<https://www.aica.co.jp/>



●商品のお問い合わせはアイカ問合せセンターまでお願いいたします。

☎0120-525-100 TEL 052-409-8313 受付時間: 9時~17時

●アイカカタログセンター

TEL 052-409-1471

※問合せセンター・カタログセンターを含む全営業店所の営業日は月~金曜日、休業日は土曜日・日曜日・祝日です。カタログ・サンプル当日出荷のホームページ受付締め時間は14:00です。

※フリーダイヤルは、携帯電話・一部のIP電話等からはご利用にならない場合がございます。

業務用

- 改良のため、予告なく仕様および価格を変更することがありますのでご了承ください。確認はアイカ問合せセンターまでお願いいたします。
- 荷受けの際、必ず破損の有無をご確認ください。万一破損している場合は、運送会社の証明をもらい、至急当社へご連絡ください。また、ご使用前に製品に異常がないかもご確認ください。後日に発見された場合は、責を負いかねます。

- 印刷物につき、商品写真と実物とは相違することがあります。
- ©アイカ工業株式会社 本書に収録したものの一部または全部の無断複製・転載を禁じます。

